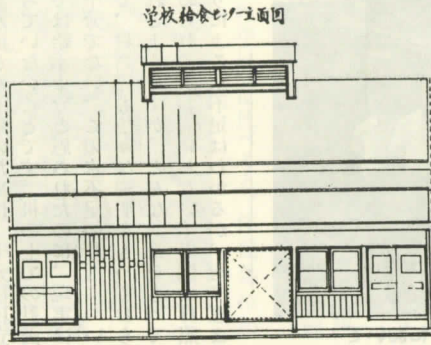




発行所 福井県大野郡和泉村

学校給食センター着工

かねてより各学校の悩みの種であった学校給食は、いまや学校教育の重要な要素となり、施設設備の近代化と衛生管理が必然的に要求され、安全を



学校給食センター正面図

第一義として次代をになう青少年の体づくりに、真剣に取り組んでいく。この時にあたり、古い施設と非衛生的、非能率的であった給食準備室を、新しく給食センターとして充足するよう、いま中学校敷地内で新築工事として着工されている。

研究は勿論、食生活の改善合理化に、大きな期待が寄せられている。建物は、六間に六間の三十六坪平家建て、準備室内の主な施設は、球根皮むき機、電気冷蔵庫、野菜切機、調理台、ミルクナイザー、ミルク二重釜、重油カマド、フライヤー、給湯ボイラー、ガス魚焼器、ガスレンジ電気炊飯器、食器洗浄機、熱風消毒保管機等で、コンテナによる学校配達計画されている。

和泉村再建方策審議会(中)

(給食設備を含む)

- (甲) 中産地区は、鉦山見学地として紹介し、併せて「山大納ぜんまい」の生産を特産化する。
- (乙) 石徹白川筋は、県道の舗装を要請し、ハイキングコース又は、ドライブコースとし、点在する小ダムを釣場として開発し、民宿等の地域開発をおこなう。
- (丙) 当村の再建対策の一環としての観光開発は以上の通りであるが、審議会内の専門委員会を綜合一貫して工事終了後の住民生活の安定に努力すべきで、こゝに各職種を包含する村内の状況分析を行ない、適者適職の上に立つ再建対策とするため、県の商工観光課等を利用して地域調査を行ない、この診断データに基づき各専門委員会の提携推進の形態となるよう希望します。
- (丁) 昭和四十一年十二月 和泉村再建方策審議会 宇野一雄
- (戊) 和泉村長杉本又助 殿
- (己) 添附資料 1 ダム湖水産研究会記録 2 福井県和泉村観光診断報告書 添附資料 1 ダム湖水産研究会記録
- (庚) 期日 昭和四十一年八月五日・六日 出席者 日光水産試験場長 白石博士

(昭和42年9月1日現在)

村の人口	8人
出生	24人
死亡	14人
転入	44人
転出	3,779人
総人口	2,004人
男	1,775人
女	229人
世帯数	1.139世帯
村の面積	332.26平方km

今月の目標

- 健全なる体に健全なる精神宿る
- 一、健康なる体力づくりに努めましょう
 - 一、健康なる家庭をつくりましょう
 - 一、食欲の秋に甘んじての暴飲暴食はつしめましょう

和泉村再建方策審議会(中)

- 福井県水産試験場長 千原 到 福
- 福井県水産試験場 歌原 技 師
- 福井県水産課 刀 弥 技 師
- 武生高等学校 五十嵐 教 諭
- 和泉村魚協長 山本 清 孝
- 和泉村観光開発委員 全員
- 五日、石徹白川水系
- 六日、九頭竜川水系
- 実地踏査結果のまとめ(主として白石博士の説)——以下次号

こ だ ま

去る九月十日の日曜日、国鉄の定期運行、奥越観光バス、もみじ号の第一陣が当地を訪れ、いよいよ本村にもにわか観光地ムードが盛り上がり、今力強く観光地のニューフェイスとしてスタートしようとしている事は本当に頼母しい限りである、全国でも屈指といわれるロックフェルダムと奥越路の九頭竜峡、深谷美に素材で情緒豊かな人情と合せて観光奥越の名がいよいよ高まり、バスや家用車の繰込んで来る人波でいつもにぎわう、いずみ村になつてほしいと思うのは、今更今日こ

頃の全村民の共通の願いでもあろう。越美北線的全線開通と共に、完成されたダム、大自然にかこまれた紺碧の湖に緑の山々とのコントラストが美しく映えて、いずれも天下に誇る絶景ともなり、いつか「日本のふるさと奥越へどうぞ」等と、キャッチフレーズを考えねばならぬ時夢でなくなったのである。かかるわずかの期間に観光いずみの基礎としての成果を上げた関係当局の方々と村民の皆さんに、敬意を表したいと共に観光地としての名がいよいよ本格的に高まるよう、此の際村民一丸となつて数々のアイデアを加え、新しい魅力を挿入するよう努力したいものです。

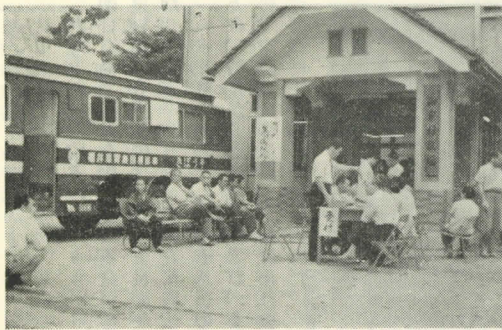
◆観光事業により広く県内外から多くの観光客を誘致することで、村内の生産物を移出すると同じような収入効果を上げたいとは、誰れでも考えて見ることだ。いわゆる見えざる移出を構成出来るのは、つまり観光貿易とも言えるもので、かつては木炭、木材、黄蓮、ぜんまい等と林産物を主として移出し収入を得てきた、いずみ村に今度は、これに加えて風影を売る移出とも言うべき観光開発の成果は大いに期待したい。大きくはスイス、イタリア、フランス等の諸国が、アメリカの漫遊客により年々多額の国際収入を得ている事実にかんがみ、山のスイス、水の美しいイタリアと迄に行かずとも、これを兼ねた山紫水明のいずみ村の観光資源を大いに生かし、いよいよ企画宣伝、他では味わえない自然の特色を生かした観光地として収入の増大を計りたいもの、この秋は観光貿易で富める村を先行出来るよう全村民深く考えるようにしたいものです。

移動保健所の開設

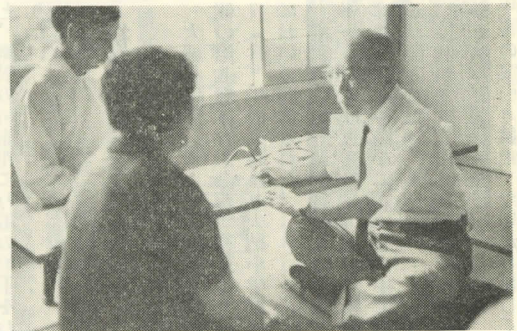
大野保健所では、日頃保健所を利用出来ない人達のために移動保健所を開設した。

第一日目の九月四日は診療所で、受診者一〇八名、第二日目は中竜会館で受診者一六〇名の多数で盛況であった検査等の内容は、
一、結核予防健康診断（レントゲン車による間接撮影）
二、成人病健康診断と相談（血圧測定検尿、潜血）
三、血液型判定検査
四、便の検査（寄生虫調査）
五、食品、環境衛生相談
六、栄養一般指導（キッチンカーによる料理実習）
七、衛生教育普及（パンフレット配布）
八、その他一般健康相談、衛生映画等

昨年以前に比べると、住民各位の



きぼう号による検診の様様



各部間における検尿話談風景

「健康に対する関心」がグッと強まった感じで、今度の移動保健所や各種予防接種及び検診の数において実証され大変喜ばしい傾向である。

今回の移動保健所の開設でご活躍下さった大野保健所長始め保健婦さんや職員一同、大野市の高井医師、診療所長やお手伝い下さった皆さんに心から感謝致します

胃の集団検診

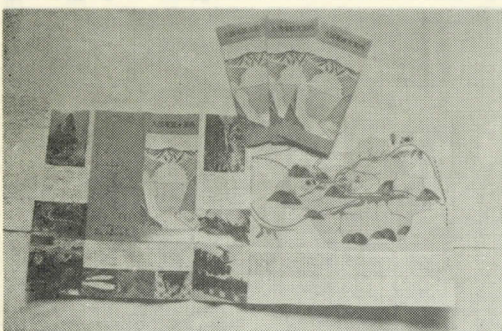
九月十一日と十二日の両日、胃の集団検診車「きぼう号」によって早期発見、早期治療をと、百余名がつかめかけレントゲン撮影による検診を行なった

観光だより

先月号で紹介しました当村の観光開発の現状のうち、八月二日現在予定として掲載した分は次のとおり実施され



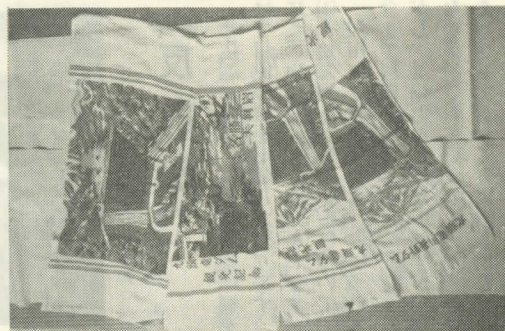
ダム見学の見学客



各地配布のパンフレット

朝日駅裏に設置する公衆便所は写真の通り完成し、定観客の利用を待っています。
観光パンフレットも写真のとおり出来上り必要方面に配布中です。

八月十日の定観（定期観光バスの略称）試乗会も先月号掲載の通り実施されました。
九月十日の開通式も予定通り行なわれましたが、村内予定としての腹案は、

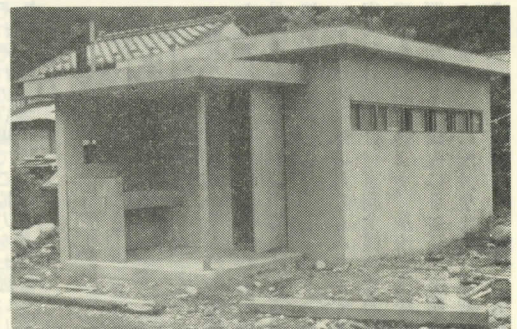


朝日商店街謹製の観光みやげタオル

- (イ) ダムサイド見学 三〇分
- (ロ) 昼食 四〇分
- (ハ) 宝物拝観、民具品視察 (五〇分)
- (ニ) 朝日散策 (五〇分)
- 一・〇〇～一・四・一〇 一・九〇分の予定です。交通制限や、その他の突発事故で多少の差が出来るかも知れませんが、標準を右の通りに国鉄当局に折渉します。
- 尚定観運行日程はパンフレット所載の通り次のようになっていきます。

観光バス運行日

- 9月 10、15、17、24
- 10月 1、8、10、15、22、29
- 11月 3、5、12、19、23



国鉄朝日駅裏に完成した公衆便所

人のうらや

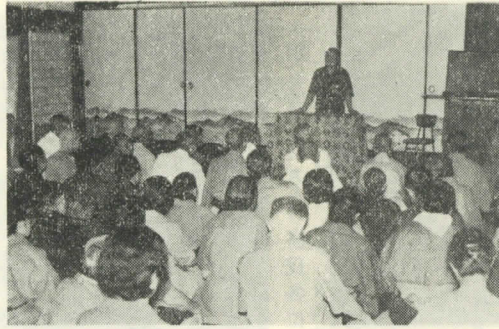
【出生】 (八月分)

- 後野 隼守 関次郎長男
- 大谷 若山 禎 秀之 二男
- 若山 寛 秀之 三男
- 下半原 木島 知也 正司 長男
- 東市布 田中 伸也 弘 長男
- 朝日 工藤 鋭 勝男 長男
- 〔婚姻〕
- 上大納 横地美佐子
- 愛媛県北宇和郡宇和海村 金子 豊一
- 大野市神明 西森 郁子
- 上大納 辻 健次郎
- 〔死亡〕
- 東市布 田中 つま 八五才
- 中竜 鎌田 文夫 三五才
- 中竜 峯村九左衛門 三四才

敬老会催さる

九月十五日、敬老の日にさきがけ、朝日道場で老人をなぐさめる会が、和泉村婦人会主催により九月五日開かれた。

八十才以上のおとしより十八名の方々は、村長から記念品が渡され、その後、泉真滴氏の法話と、鯖江市社会教育課長林正一氏の講演があった。



真滴泉先生の法話を熱心に聞きいるおとしより

学校放送

グラウンド整地と 合同運動会

三年間待望し続けた朝日中学校グラウンドは、このほど目を見はるばかりの立派に整地された。長さ一二〇米、

巾五三米、細長いながらも約二、〇〇〇坪の広大なグラウンドは、いま幼稚園小学校、中学校の子供たちの天国に なっている。施設こそないが直線一〇〇米コース。バレーコート、バスケットコートは勿論、一周三〇〇米のトラックコースもとれようというもの。

今春、小学校舎改築のため、中学校に仮教場を求めた幼稚園、小学校は四月以後一度も校庭を使わず、体育の学習に悩み抜いた九月の秋晴れの日、きれいになったグラウンドを心ゆくまでかきまわり、村当局の教育優先の施策を感謝しつつ、その歓声は清く美しく秋空にこだましている。

絶えて久しい幼小中の合同体育大会が、この機に計画され、国体前年のムードづくりと、新しい村づくりの基幹となる、人づくり体力づくりを目ざして、社会性の啓培と教育の連繫を学習目標に、九月二十四日秋分の日実施の予定である。伸び行く子ども達の幸せと、無限の可能性に万雷の拍手をおくりたい。

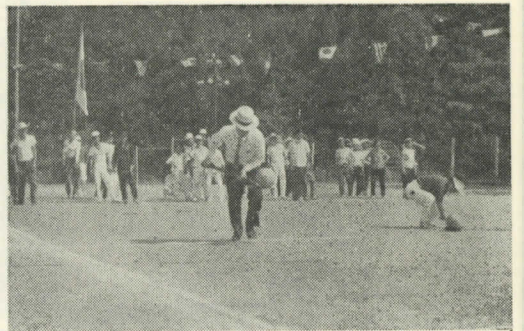
初秋をさそう体育大会

(大納公民館)

大納公民館(青・成・婦各学級)主催の第七回体育大会が、初秋の九月三日(日)午前九時より大納小学校校庭において開催された。

雨天のため一週間延びた当日は、早朝から好天に恵まれ、大納小学校校庭は終始なごやかなふんいきの中で競技が展開された。

恒例のドラムカンたたきに顔かき競争から、幼児のキャラメル拾い、お年寄の宝引き競走、今年から新しく加



大納小学校において開かれた体育大会

わったカニまた、色分け競走などバラエティに富んだ競技があいつぎ、満場の拍手をあびる中で仲良しリレーを最後に午後四時全競技を終了した。

交通安全地蔵入仏式

激増する最近の交通事故に想いをなして、去る八月十一日、国道一五七号線



ぞいの和泉村と、大野市境介地点に、この度関係者ならびに地元協賛者により、交通安全地蔵が建立された。この日山崎県議を始め村議長ならびに助役

および多数の参列者を迎えて小雨そぼ降る、うちにおごそかに行われ、今や全人類の悲願ともいふべき交通安全の守護を願う犠牲者のめい福を祈った。



(入仏式の模様)

『反射鏡』

当広報に毎月、「私の希望」欄を設けて村民の声を掲載しております。次にこの声に対するお答えをします。

(1) 焼却機とごみの処理について、河川にごみをすてることについては今まで何回か広報を通じて注意をうながし、ご協力を願ったのですが、なかなか実行されていません。観光いずみを目ざして村づくりに乗り出している時、外来客にどんな印象を与えていることか。もう少し協力的にお願いしたい。

また焼却機の中えビンや、あきかんなど燃えないものを投げ入れたりする非常識、さらに灰が一ぱいつまっても

取り除かない非協力は残念です。

(2) 役場の窓口設定について

事務改善による窓口一本化を計画中であります。現在は住民課、税務課のどちららでもご用件を申出されると、すみやかに取りつき処理してくれます

(3) 道路補修について、

電源開発工事に伴う輸送量の増大と当地方の気象的、地理的な悪条件が重なって補修はすれど追いつかない現状であります。四十三年度から朝日一油坂間、朝日一西勝原間の完全舗装計画、残る未改良区間は五カ年計画で改良舗装することになっております。

(4) ガードレール等について

危険防止と風致を考慮した朝日橋下流の国道ガードロープは目下建設中、また役場所の側溝蓋は鉄板で取付ずみ。

このように、「私の希望」村民の声は着々実現の段階に入っています。村民こそつて住みよい村づくりに協力しそれぞれの立場でご協力をお願いします。

あとがき

そろそろ暖房器具の手入れの時期になりました。早目にとり出して、部分品などをそろえ、いつでも使えるようにしておきましょう。

十月は大掃除の月でもあります。屋内、屋外にわけ、家族全員の協力を得て手をぬかないよう。月末には読書週間も始まり、長夜にそなえ、照明のくふうをし、光の配分をよく考えてみよう。